

県営水道のあらまし

1961年度、愛知用水を水源として、幹線水路沿いの13市町へ給水したのが、県営水道の始まりです。

その後、水需要の増加に応えながら、水道のネットワークを広げ、今ではほぼ県内全域(名古屋市とその周辺の一部及び三河山間地域の一部を除く。)に広がっています。

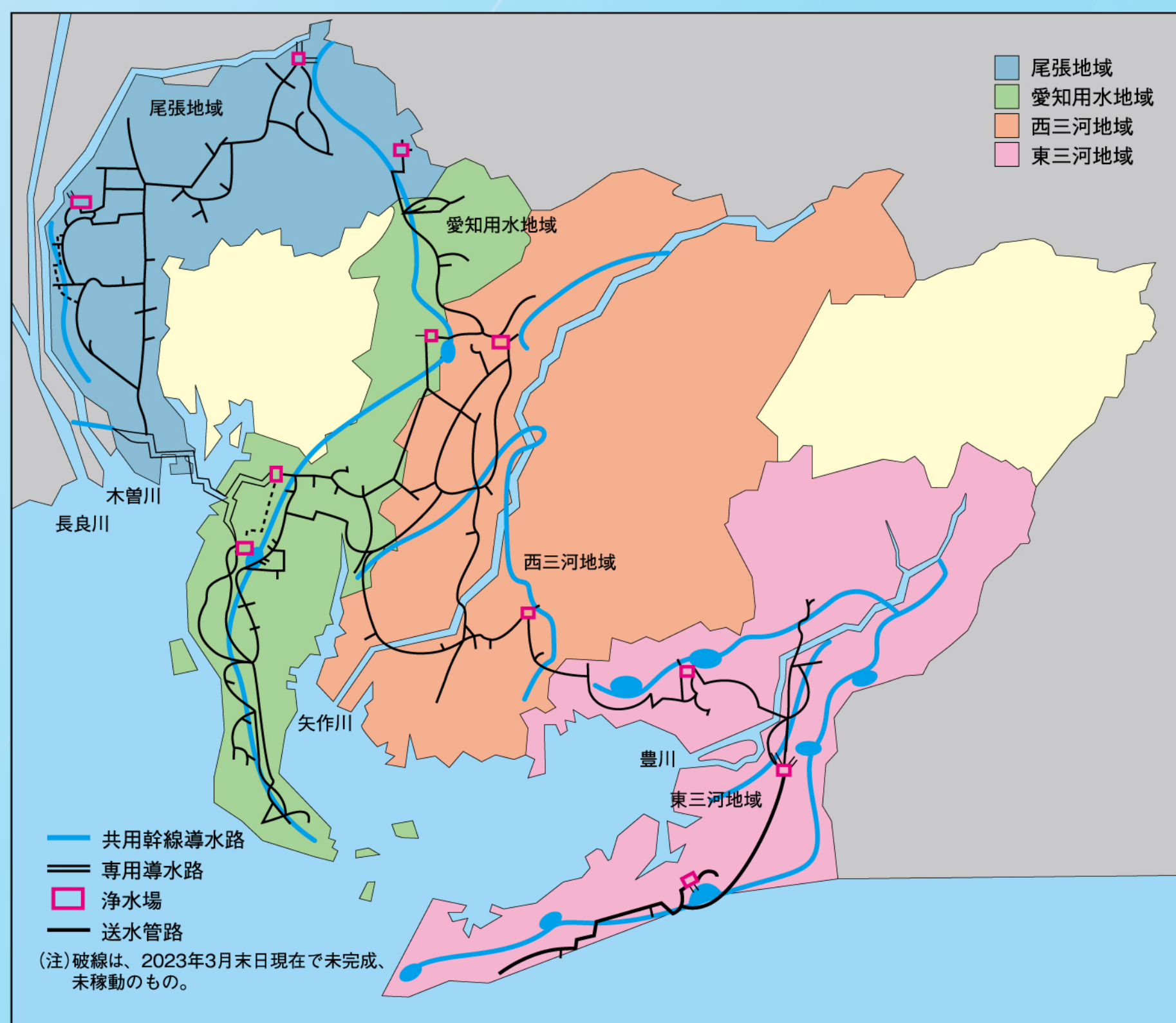
愛知県民のみなさんが、いま使っておられる水のおよそ2分の1が県営水道から供給されている水です。

事業の概要

計画一日最大給水量	1,740,000m ³
水源	・木曽川水系 (木曽川、揖斐川、長良川) ・矢作川水系(矢作川) ・豊川水系(豊川)
計画施設能力	1,924,600m ³ /日
浄水場	11浄水場
管路延長	約820km
給水対象	42団体(49市町村)

※2024年4月1日時点

よりたくさんの人の 快適な暮らしをねがって



水道事業概要図

県内に広がる 水道のネットワーク

給水対象

豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、田原市、愛西市、清須市、あま市、蟹江町、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、愛知中部水道企業団、北名古屋水道企業団、丹羽広域事務組合及び海部南部水道企業団

※愛知中部水道企業団(豊明市・日進市・みよし市・長久手市・東郷町)、北名古屋水道企業団(北名古屋市・豊山町)、丹羽広域事務組合(大口町・扶桑町)、海部南部水道企業団(弥富市・飛島村・愛西市の一部)



◀ こちらのWebページで、県営水道・工業用水道のパンフレットを掲載しています。